

## 第 5 学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 自分の命は、みんなの命
- 2 内容項目 3－（１）自他の生命を尊重して
- 3 資料名 「その思いを受けついで」（私たちの道徳）

### 4 ねらい（視点）

生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する心情を育てる。

本授業は、学習指導要領「特別の教科 道徳編」（平成 27 年 3 月改定）の内容項目 D にあたる。第 5 学年及び第 6 学年の内容項目の特徴は「生命が多くの生命のつながりのなかの中にある」という文言である。本時では、命のつながりを生命の連続性という側面ではなく、「様々な人々の精神的なつながりや支え合いの中で育まれる命」と捉えることとした。

### 授業像

自分の命は自分だけのものではなく、自分を取り巻く様々な人の支えやつながりの中で生まれ、周りのみんなにとっても大切な命である。そのことを自覚することは自他の生命を大切にし、よりよく生きていこうとすることにつながると考える。

本資料は、生前はもとより、最後の時を迎えてもなお、孫への深い愛情とその思いを伝える祖父と、その思いを受け止め、命を大切に生きていこうとする「ぼく」（大地）を中心に描かれている。祖父が最後に残した手紙を見つめる主人公の気持ちを捉えることで、「自分の命は、周りのみんなにとっても大事な命であること」や「家族や社会的なかわりの中での生命の在り方」について考えることができる。

本時までには子どもたちは様々な学習や生活経験のなかで命の大切さについて触れてきているが、価値に関わる指導は十分とはいえない。学級として「命」について共通の視点で学び合い、「自分の命は、みんなの命」という道徳的価値について補充していきたい。

### 視点 1 「学びがつながる教材化の工夫」

#### 子どもの「本気」が生まれる教材化

##### ○ 「命とは何か」について問題意識を生む

日本では 1 年に約 100 万人命が誕生している。一方、死者数は約 127 万人である。つまり、30 秒に一つの命が生まれ、24 秒に一つの命が消えていっている計算になる。また、日本の自殺者数は 1 年に 25427 人にのぼる。このような数字を提示し、「命とはいったい何か」について問題意識をもたせていく。

##### ○ 大地とじいちゃんの精神的なつながりを明らかにする

大地が手紙を読む中心場面では、手紙を見て「じいちゃん…」と言った大地の気持ちを考える。大地と祖父との精神的なつながりをより明らかにしていくために、中心場面の前には手紙を書いた祖父の気持ちを想像させ、死を迎える直前まで大事な孫のことを思う祖父の深い愛情に気付かせていく。

##### ○ 「命とは何か」を自分とのかかわりで捉え直す

授業の後半では、各家庭に協力して書いていただいた資料（私たちの道徳 P102～103）を活用する。自分の成長を支えてくれた人の存在や思いに触れることで、道徳的価値を自分とのかかわりで捉えることができるようにする。

視点2「学びをつなげる教師のかかわり」

学びがつながる板書の工夫


○ 子どもの見方や考え方を活かすかかわり

資料提示を工夫し、「命となんだろう？」という思いを子どもたちにもたせていく。「命」について一応の考えをもった子どもたちに学習の最後、もう一度「命」について見つめ直す場を設定する。自分の見方や考え方がどのように変容したか振り返ることで、子ども一人ひとりの道徳的価値の自覚を図っていく。

○ 子どもの見方や考え方をつなぐ発問

主人公のぼく(大地)がじいちゃんの手紙を読む中心場面では、まず、手紙を書いたじいちゃんの気持ちを考えさせる。その後、その手紙を読み「じいちゃん…」と言葉をつまらせた主人公の姿に立ち止まる。そこで、教師は「ぼくは、じいちゃんに何を言いたかったのかな」と問いかけていく。じいちゃんの孫を思う気持ちとそれに応えようとする主人公の気持ちをつなぎながらじいちゃんと主人公の精神的なつながりを捉えさせていく。

5 本時の展開

時	主な学習内容・活動	評価・留意点
	<p>前時までに 学級活動、理科、道徳などを通じて命を大切にすることや自分は誰かの支えによって生きていることを学んできている。</p> <p>30秒に一つの命が生まれる ← <b>命とは何だろうか？</b> → 自殺する人 1年間で25,427人 24秒に一つの命が消える 1日69人</p> <p><b>命について考えよう。</b></p> <p>【資料】「その思いを受け継いで」(私たちの道徳P104~107) 「じいちゃんが、あと三か月で死ぬかもしれないなんて…」</p> <p>・悲しい      ・信じられない      ・助かってほしい</p> <p>「ぼくは感心にも毎日欠かさず病院に行った。」</p> <p>・少しでも一緒にいたい      ・そばにいてあげたい</p> <p>「[じいちゃん…]と大地はじいちゃんに何を言おうとしたのだろうか？」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【じいちゃん】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大ちゃんありがとう</li> <li>・毎日来てくれてうれしかったよ。</li> <li>・立派に成長するんだよ</li> <li>・いつまでも見守っているよ</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; width: 20%;"> <p>大事な孫</p>  <p>大好きなじいちゃん</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>【大地】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じいちゃんありがとう</li> <li>・もう苦しなくていいよ</li> <li>・じいちゃんの分もしっかり生きるよ</li> <li>・立派な大人になるよ</li> <li>・ずっと見守っていてね</li> </ul> </div> </div> <p>【資料】「自分の命を見つめてみよう」(私たちの道徳P102~103)</p> <p><b>「命とは何だろうか？」</b></p> <p>・家族にとっても大事なもの      ・みんなの願いが詰まっている ・誰かが守ってくれているもの      ・自分だけのものではない</p> <p>命とは自分だけのものではなく、自分の周りの人にとっても大切なかけがえのないものなんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれる命と消えていく命、1年間の自殺者数を提示し、学習テーマ「命について考えよう」へと方向付ける。</li> <li>・命についてどのような考えをもっているのか交流する。</li> <li>・大地のじいちゃんへの思い捉えることができるように、じいちゃんが余命3か月だと知った大地の気持ちを想像させる。</li> <li>・毎日欠かさず病院に行った大地の気持ちを想像させることで、大地のじいちゃんを大切にすることを捉えさせる</li> <li>・大地のことを大切に思っていることを捉えることができるように、のし袋に込められたじいちゃんの思いを考えさせる</li> <li>・自分の命には身の回りの人にとってもかけがえのないものであることに気付くことができるように、大地が最後にじいちゃんに何を言おうとしたのか考えさせる。</li> <li>・自己を見つめ直すことができるように、資料P102~103を読み、命について問い直す。</li> </ul>

